

資料1 進捗状況管理表

進捗 B

1

基本目標	1 地域で支え合う仕組みをつくる				担当課	社会福祉課
主要施策	1 地域福祉意識の高揚					
町の取り組み	啓発活動の充実					
具体的な内容	・住民一人ひとりの福祉に対する理解と参加を促進するため、広報紙やホームページなど多様な媒体を通じた啓発活動を展開します。					
取り組み内容	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	●地域福祉に携わる方々を広報紙で紹介する。					
	●ホームページに地域福祉計画取り組み実績を掲載する。					
実績	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	●広報5月号に広陵町地域福祉計画特集記事を掲載した。また、毎月の広報裏表紙に地域福祉に携わる町内の方の紹介記事を掲載し、地域活性化に役立てた。 ●ホームページに、地域福祉計画の取り組み内容を掲載し、広く周知した。	●毎月の広報裏表紙に「つながらる 広がる」というコーナーを設け、地域福祉に携わる町内の方の紹介記事を掲載した。 ●新型コロナウイルスにより、年1回の開催予定であった地域福祉計画策定委員会の開催を中止したため、取り組みの掲載ができなかった。	●地域福祉に携わる方々の紹介として、民生委員活動の紹介記事を、町広報11月号に掲載した。 ●地域福祉計画取組実績を町ホームページに掲載した。(R4. 1)	●担当者不在となりコロナの影響もあり、委員会を開催できず取り組むことができなかった。	●未定 ●未定	

2

進捗	協働のまちづくり	A
	社会福祉課	B

基本目標	1 地域で支え合う仕組みをつくる	担当課	協働のまちづくり推進課
主要施策	1 地域福祉意識の高揚		社会福祉課
町の取り組み	啓発活動の充実		
具体的な内容	・「人権週間」や「障がい者週間」等の機会を利用し、人権についてや障がい者等の権利に関する法律や制度等についての啓発を行います。		

取り組み内容	協働のまちづくり 推進課	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		●「人権のつどい」を開催し、講演内容を広報紙等で公表する。				
		●テーマ「LGBTの実情と人権」について	●テーマ「障がい者の人権」について	●テーマ 未定 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	●テーマ 「精神障がい者の自立と人権」について	●テーマ 「自殺予防対策と人権」について
	社会福祉課	●障がい者週間に関する記事を広報やホームページに掲載する。				
		●障がい者差別の防止や障がい者に対する配慮について掲載する。	●障害者雇用促進法について広報に掲載する。	●障害者雇用促進法について広報に掲載する。	●テーマ 未定	●テーマ 未定

実績	協働のまちづくり 推進課	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		●性的マイノリティの方を講師に招き、「LGBTの実情と人権」というテーマで講演を行うことで、町民に対して啓発することができた。	●「人権のつどい」は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となったが、令和元年度の講演内容を7月号広報に挟み込むことで継続した啓発を実施した。	●「人権のつどい」は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。●シトラスリボンの配布を行い、新型コロナ差別の防止への啓発を行った。	●3年ぶりに「人権のつどい」を開催し、精神障がい者の自立支援を行う方に講演していただいた。	●生涯学習文化財課のPTA指導者研修会、生涯学習セミナーと合同で「まちづくりのつどい」を開催し、自殺予防対策の観点から講演していただいた。
	社会福祉課	●11月号広報にて、「障がい者虐待防止法」について記事を掲載した。	●11月号広報にて、「障害者虐待防止法」の記事を掲載し、障がい者虐待に対する相談先を周知した。	●11月号広報にて「障害者虐待防止センター」の記事を掲載し、虐待の種類や雇用する事業主からの虐待に対して相談に応じる旨を周知した。	●令和4年度は自立支援協議会における全体会にて、事業所の授産品販売やあPR活動のブースを設け、障がい者差別に関する啓発活動を実施した。	●未定
		●7月号広報にて、ヘルプカードをテーマとした記事を掲載し、障がい者に対する配慮について周知した。	●12月号広報にて、「障がい者週間」の記事を掲載し、障がい者への理解や様々な分野での活動を促進するための週間であることを周知した。	●昨年同様、12月号広報にて、「障がい者週間」の記事を掲載し、精神保健福祉に係る「こころの相談室」の実施について周知した。	●障がい児を含む「児童」の虐待防止について11月号広報に掲載し、啓発を行った。	●未定

進捗	B
----	---

3

基本目標	1 地域で支え合う仕組みをつくる					担当課	教育総務課
主要施策	1 地域福祉意識の高揚						
町の取り組み	小中学生に対するボランティア教育の実施						
具体的な内容	・ボランティア意識の向上を進めるため、小中学生を対象にボランティア活動に関する教育を実施します。						
取り組み内容	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	<div style="border: 1px solid black; background-color: #FFF2CC; padding: 10px; display: inline-block;"> <p>●生徒会・児童会活動を通して、ボランティア活動の重要性や必要性等を子どもたちに伝える。</p> </div>						
実績	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	●3月に実施している地域清掃等（クリーンキャンペン）の取り組みを通じて、ボランティア活動の重要性や必要性等を子どもたちに伝えた。	●真美ヶ丘中学校では、生徒会が主体で地域清掃活動を実施し、広陵中学校では、3年生が馬見丘陵公園までの道中で地域清掃活動を実施したことから、これらの活動によりボランティア活動の重要性や必要性等を生徒に伝えることができた。	●障害者福祉に関する講座や生徒達による研究発表、ボランティア活動をされている方々の姿を通じて、活動の重要性や必要性等を子どもたちに伝えた。	●地域清掃活動を行うなど、児童生徒自らがボランティア活動に参加した。 ●学校にゲストティーチャーを招いて、聴覚や視覚に障害がある方からお話を聞き、自分たちにできる手助けやボランティアについて考える機会を持った。	●未定		

進捗	B
----	---

4

基本目標	1 地域で支え合う仕組みをつくる					担当課	社会福祉課
主要施策	1 「地域福祉意識の高揚」						
町の取り組み	相互理解の促進						
具体的な内容	・ノーマライゼーションの理念を実現するために、障がい者に対する正しい理解と認識を深める活動や教育の充実を図ります。						
取り組み内容	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	<ul style="list-style-type: none"> ●広報紙に手話言語条例の制定に関する特集記事を掲載。 ●毎月、広報紙でミニ手話講座を連載する。 ●ミニ手話講座と連動した動画を作成し、YouTubeで公開すると共に、役場・さわやかホールロビーのモニターで放映する。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; display: inline-block;"> <ul style="list-style-type: none"> ●図書館の展示ブースで啓発ポスター掲示や障がいのある人が製作した作品を展示する。 </div>					
実績	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	<ul style="list-style-type: none"> ●全ての取組を実施することができた。広報でのミニ手話講座を見た町民の方が手話奉仕員養成講座に申し込む等、効果はあったと思われる。YouTubeの動画閲覧数は伸び悩んでいるため、周知が必要であると思われる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●県が発行したポスターの枚数に限りがあったため、さわやかホール、役場にのみ掲示したが、障がい者への理解における啓発を実施することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ●昨年同様、「障がい者作品展」等のポスターを掲示した。枚数に限りがあったため、さわやかホール、役場のみに掲示したが、障がい者理解に向けた啓発は実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ●例年同様、「障がい者作品展」等のポスターを掲示した。同時に各事業所や養護学校にもミニポスターを配布し、関係者や保護者等にもイベントについて周知を行い、参加者を増やすことを目標に障がい者理解に向けた啓発活動を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ●未定 		

進捗	D
----	---

5

基本目標	1 地域で支え合う仕組みをつくる				担当課	社会福祉課
主要施策	2 地域福祉活動・ボランティア活動の活性化					
町の取り組み	ボランティア活動の支援					
具体的な内容	・ボランティア活動に関する広報、啓発活動の充実など様々な支援を図ります。					
取り組み内容	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	●ボランティア活動や地域福祉活動を行っている方を広報紙で紹介する。	●広報の裏表紙において、ボランティア活動や地域福祉活動を行っている団体の紹介記事を掲載する。	●小学校でボランティア教育を行う。	●中学校でボランティア教育を行う。	●未定	
実績	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	●広報の裏表紙において、地域でボランティア活動されている方の記事を毎月掲載し、活性化の促進に役立てた。	●毎月の広報裏表紙に「つながる 広がる」というコーナーを設け、ボランティア活動や地域福祉活動を行っている方々の紹介記事を掲載し、地域活性化に役立てた。	●令和3年度は、新型コロナウイルスの感染拡大により、小学校等へのボランティア活動や地域福祉活動の紹介が行えなかった。	●令和4年度は、新型コロナウイルスの感染拡大により、中学校等へのボランティア活動や地域福祉活動の紹介が行えなかった。	●未定	

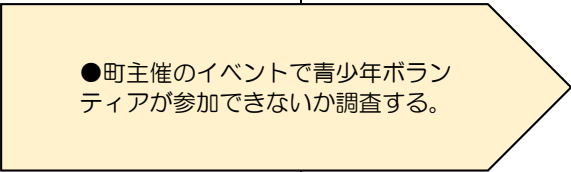
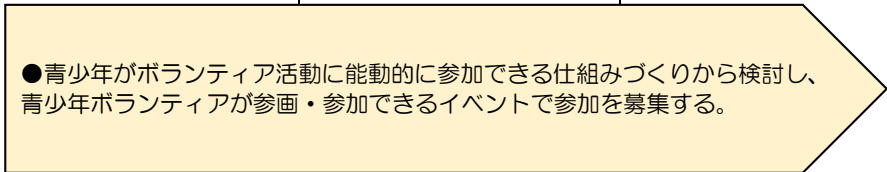
進捗	B
----	---

6

基本目標	1 地域で支え合う仕組みをつくる				担当課	社会福祉課
主要施策	2 地域福祉活動・ボランティア活動の活性化					
町の取り組み	ボランティア活動の支援					
具体的な内容	・今後の福祉ニーズの多様化に対応するため、福祉サービスを担う職員はもとより、関係機関職員に対しても研修や学習の機会を提供します。					
取り組み内容	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	<ul style="list-style-type: none"> ●研修内容について、民生委員・児童委員協議会と協議する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「生活福祉資金制度」や「成年後見制度」等について、民生委員・児童委員や地域福祉委員に向けて研修会を実施する。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; display: inline-block;"> <ul style="list-style-type: none"> ●民生委員・児童委員や地域福祉委員に向けて研修会を実施する。 </div>			
実績	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	<ul style="list-style-type: none"> ●平成31年度の研修は別テーマでの研修が設定されたため、実施に至らなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ●新型コロナウイルス感染拡大防止のため、研修会を中止した。 	<ul style="list-style-type: none"> ●令和3年4月、民生委員に対して生活福祉資金制度についての研修を実施し、制度についての啓発を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ●令和4年6月、救急医療情報キットの実用と活用事例について消防署から講義を受けた。 ●令和4年8月、災害救助犬育成活動を実施した。 ●令和4年10月、かぐや姫まつりで活動紹介を行った。 ●令和5年3月、障がい者行動体験を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ●未定 	

進捗	D
----	---

7

基本目標	1 地域で支え合う仕組みをつくる					担当課	生涯学習文化財課
主要施策	2 地域福祉活動・ボランティア活動の活性化						
町の取り組み	青少年ボランティアの育成						
具体的な内容	・中高生を対象に体験学習やボランティア交流を行い、青少年ボランティアの育成を図ります。						
取り組み内容	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	 <p>●町主催のイベントで青少年ボランティアが参加できないか調査する。</p>			 <p>●青少年がボランティア活動に能動的に参加できる仕組みづくりから検討し、青少年ボランティアが参画・参加できるイベントで参加を募集する。</p>			
実績	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	●町主催のイベントの把握はできたが、ボランティア参加へ向けた調査までは至らなかった。	●新型コロナウイルスの影響により、協議する場である部会等の開催ができなかったことから、中高生向けを対象にした意識調査の実施に至らなかった。	●令和2年度から引き続き新型コロナウイルスの影響により、協議する場である部会等が開催できていないことから、中高生向けを対象にした意識調査の実施に至らなかった。	●前年度同様、新型コロナウイルスの影響により、協議する場である部会等が開催できていないことから、中高生向けを対象にした意識調査の実施に至らなかった。	●未定		

8

進捗	社会福祉課	B
	介護福祉課	B
	こども課	D
	子育て総合支援課	B

基本目標	1 地域で支え合う仕組みをつくる	担当課	社会福祉課
主要施策	2 地域福祉活動・ボランティア活動の活性化		介護福祉課
町の取り組み	地域福祉活動の担い手の発掘・育成		こども課・子育て総合支援課
具体的な内容	・「団塊世代」などから地域活動への意欲を持った人材を発掘し、高齢者や障がいのある人、子育て家庭等を支援する人材を育成します。		

		平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
取り組み内容	社会福祉課	●研修の内容や講師の選定などの協議を行う。	●民生委員・児童委員等に向け、「障がい者の社会参加について」をテーマに地域福祉活動に関する研修を実施する。	●民生委員・児童委員等に向けた、地域福祉活動に関する研修会を開催する。	●テーマ「高齢者の見守り」について	●テーマは未定
	介護福祉課	●介護予防リーダー養成講座を実施する。				
		●年1回実施、定員15人を養成。	●介護保険計画見直し後、数値目標を設定。年1回養成講座を開催する。			
	子育て総合支援課	●子育て支援拠点事業及び放課後児童育成事業でボランティアを活用する。				
	●社会福祉協議会と連携し、登録ボランティアを活用し、各事業の充実を図る。					

		平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
実績	社会福祉課	●地域福祉活動を実施する人材発掘、育成を行うにあたり、社会福祉協議会と協議を実施に至らなかった。	●新型コロナウイルス感染拡大防止のため、当初予定していたテーマでの研修会を中止した。	●近年増加傾向にあり問題となっている『自殺対策』にテーマを変更し、アルコール依存症について研修会を行った。	●小学校5校においてキッズサポーター養成講座を実施 ●令和5年2月、高齢者世帯等調査を実施した。	●未定
	介護福祉課	●令和元年11月より、11回もの養成講座を実施し、6人を養成した。	●養成講座を6回に縮小した。フォローアップ講座では、カリキュラムに実習を多く盛り込み、8人を養成することができた。	●令和2年度同様に養成講座を開催し、4人を養成することができた。	●香芝市と合同で養成講座を6回開催し、3人を要請することができた。	●未定
	こども課	●民生委員・児童委員及びボランティア団体の協力により事業を実施した。	●引き続き民生委員・児童委員及びボランティア団体の協力により、なかよし広場等の事業を実施した。	●エコセンターにおけるなかよし広場等、ボランティアの協力のもと実施した。(なかよし広場でのボランティア数：2人)	●コロナ禍においてボランティアへの協力要請ができなかった。	●未定
	子育て総合支援課				●エコセンター及びさわやかホールにおけるなかよし広場でボランティアの協力のもと実施した。(なかよし広場でのボランティア数：2人)	●未定

進捗	A
----	---

9

基本目標	1 地域で支え合う仕組みをつくる				担当課	介護福祉課
主要施策	2 地域福祉活動・ボランティア活動の活性化					
町の取り組み	認知症キャラバンメイト、認知症サポーターの育成・活動促進					
具体的な内容	・認知症に関する正しい知識の普及と理解を深めるとともに、認知症キャラバンメイト、認知症サポーターの活躍の場の拡大を図ります。					
取り組み内容	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; background-color: #FFF2CC; display: inline-block;"> <p>●認知症サポーター養成講座の実施・キッズサポーター養成講座を実施する。 (町内3事業所で認知症サポーター養成、町内3小学校でキッズサポーター養成)</p> </div>					
実績	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	<p>●認知症サポーター養成講座については、12回実施し、254人を養成した。また、キッズサポーター養成講座については北・東小学校にて実施し、88人を養成した。 (合計342人)</p>	<p>●新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、対面での養成講座を数回中止とした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館開催：2回 ・出前講座開催：3回 ・オンライン開催：2回 ・キッズサポーターオンライン：開催1回（東小学校1回） (合計119人) ・ステップアップ講座：畿央大学 (合計100人) 	<p>●サポーター養成講座（民生委員・KEEP・エリシオン）4回80人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生養成講座（町内小学校6年生）3回169人 ・中学生養成講座（町内中学校2年生）2回278人 ・ステップアップ講座（畿央大学生）1回100人 ・ステップアップ講座（KEEP）1回32人 	<p>●サポーター養成講座（がん予防推進員等）6回89人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生養成講座（町内小学校6年生）5回338人 ・ステップアップ講座（畿央大学生）1回100人 ・ステップアップ講座（民生・児童委員）1回21人 	<p>●未定</p>	

10

進捗	安全安心課	B
	こども課	C

基本目標		1 地域で支え合う仕組みをつくる				担当課	安全安心課
主要施策		3 支え合い・見守り体制の充実					こども課
町の取り組み		子どもや認知症高齢者等の見守り活動の推進					
具体的な内容		・子ども110番の家の普及促進、地域見守りボランティア登録者の増加による見守り体制の充実促進を図ります。					
取り組み内容	安全安心課	平成31年度 ●子ども110番の家及び地域見守りボランティアの概要をホームページに掲載する。	令和2年度 ●アンケート結果を取りまとめ、登録等整理・子ども110番の家の旗の回収・交換等の対応を行う。また、事業概要をHP等で周知し、普及促進に努める。	令和3年度 ●事業概要を町内の小学生に対し、交通安全新聞で周知する。今後の新規登録者方法について検討する。	令和4年度	令和5年度	
	こども課	●啓発ポスターの掲示。チラシの配布を実施し、周知を図る。					
実績	安全安心課	平成31年度 ●子ども110番の家の新規の登録を行う前に、現在の登録者約870件に対して現状確認、今後の継続についてのアンケートを行った。	令和2年度 ●アンケート結果を取りまとめ、子ども110番の家の登録を整理し、旗の回収・交換等の対応を行った。	令和3年度 ●事業概要を町内の小学生に対し、交通安全新聞で周知した。令和2年度にて整理した登録者数を維持しつつ、古い旗の交換等の対応を行った	令和4年度 ●古い旗の交換等の対応を行った。各種団体への協力の呼びかけや町内事業者に協力を仰いで子ども110番の事業所の新設には至っていない。	令和5年度 ●未定	
	こども課	●现阶段ではポスター・チラシの作成に至っていない。	●担当部署の一本化に伴い、ポスター・チラシの作成に至っていない。	●各幼稚園において通園路の確認はできているが、ポスター・チラシの作成に至っていない。	●各幼稚園において通園路の確認はできているが、ポスター・チラシの作成に至っていない。	●未定	

11

基本目標	1 地域で支え合う仕組みをつくる					担当課	介護福祉課	
主要施策	3 支え合い・見守り体制の充実							
町の取り組み	子どもや認知症高齢者等の見守り活動の推進							
具体的な内容	・事業所の協力のもと、広陵町高齢者等徘徊SOSネットワーク事業の充実を図り、行方のわからない高齢者が発生したときの情報提供を依頼し、より早期の発見に努め、地域社会での見守り体制の推進を図ります。							
取り組み内容	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度			
	<div style="border: 1px solid black; background-color: #FFF2CC; padding: 10px; display: inline-block;"> <p>●広陵町高齢者等徘徊SOSネットワーク事業の広報周知を行う。</p> </div>							
		●登録事業所数：58事業所	●登録事業所数：59事業所	●登録事業所数：70事業所	●登録事業所数：69事業所			
実績	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度			
	●協力登録事業所に対し、令和2年度に向けて継続の意志確認を実施。47件が継続の意向を示した。	●新規医療機関や居宅事業所等にネットワーク事業登録の勧奨連絡を行い、新規登録事業所が21件増え、合計68件もの登録をいただくことができた。	●新規登録事業所はなかったが、登録事業所に年数回の通信を発行し、LINE登録をお願いするなど、行方不明者発生時に迅速に対応いただける方法を検討した。	●登録事業所に年数回の通信を発行し、LINE登録をお願いするなど、行方不明者発生時に迅速に対応いただける方法を検討した。また、LINE登録している住民に行方不明者情報を届けることで早期発見に繋がっている。	●未定			

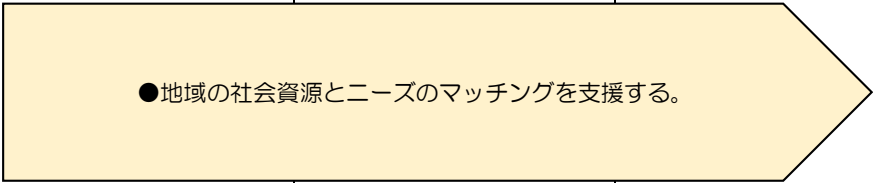
12

基本目標	1 地域で支え合う仕組みをつくる					担当課	協働のまちづくり推進課
主要施策	3 支え合い・見守り体制の充実						
町の取り組み	ご近所や自治会における取り組みの支援						
具体的な内容	・地域での見守り、声かけやあいさつ運動などが、自然に行われることのできる地域づくりを促進します。						
取り組み内容	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	●自治基本条例制定に向けた住民ワークショップについて、地域のあり方について議論し、考えを深める。	●自治基本条例制定に向けた住民説明会にて、地域にとって何が必要かを把握し、行政と地域が連携できる体制を構築する。	●自治基本条例施行に伴い、行政と地域（区・自治会や公益的団体）の連携事業を展開する。				
実績	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	●令和元年度に3回の住民ワークショップを開催し、条例素案への意見を提案いただいた。	●新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、住民説明会を実施することができなかった。一方で、見守りやあいさつ運動等の活動は引き続き、各地域で実施されている。	●新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、住民説明会を実施することができなかった。一方で見守りやあいさつ運動等の活動は引き続き、各地域で実施されている。	●地域ごとの住民説明会ではなく、希望する町内関係団体や区・自治会に対して自治基本条例を周知した。また区長・自治会長会定例会で区長・自治会長の地域活動における悩みや今後の方向性について話し合う機会を設けた。	●昨年に引き続き、地域ごとの住民説明会ではなく、希望する町内関係団体や区・自治会に対して自治基本条例を周知した。区長・自治会長会定例会で区長・自治会長の地域活動における悩みや今後の方向性について話し合う機会を設けた。また、希望する小中学校に自治基本条例出前授業を実施し、「子どももまちづくりの一員」といった認識をもってもらうように実施した。		

13

進捗 A

基本目標	1 地域で支え合う仕組みをつくる					担当課	協働のまちづくり推進課
主要施策	3 支え合い・見守り体制の充実						
町の取り組み	ご近所や自治会における取り組みの支援						
具体的な内容	・より多くの地域住民が地域での行事やイベントに対して、気軽に参加できるような環境づくりを進めます。						
取り組み内容	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	<ul style="list-style-type: none"> ●自治会で実施されている優良事例を、他自治会へ発信するよう取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ●小学校区毎に、自治会特集をホームページ等で掲載する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自治基本条例制定に合わせ、各地域や団体等で取り組まれている地域自治活動の様子・内容を広報紙および町ホームページ等で掲載する。 				
実績	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	<ul style="list-style-type: none"> ●積極的な情報公開は行っていないが、区長・自治会長会等で優良な取り組みを区長・自治会長同士で報告し合っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●小学校区毎ではないが、協働のまちづくりを行っている団体（うまみラクル、花いっぱいクラブ等）の取り組みについて、町ホームページに掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●令和3年度中、各地域や団体が行っているまちづくりの取り組みについて、毎月広報こうりょうに掲載し、紹介している。 ●広陵町で協働のまちづくりに関わる団体のための補助金事業へ応募した団体について、事業内容をHPで公開している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●昨年度に引き続き、各地域や団体が行っているまちづくりの取り組みについて、毎月広報こうりょうに掲載し、紹介している。 ●広陵町で協働のまちづくりに関わる団体のための補助金事業へ応募した団体について、事業内容をHPで公開している。 ●真美一校区の課題を取りまとめて話し合う組織体である真美一まちづくり協議会が設立された。 	<ul style="list-style-type: none"> ●昨年度に引き続き、各地域や団体が行っているまちづくりの取り組みについて、毎月広報こうりょうに掲載し、紹介している。 ●「広陵町には『どんな団体』があって『どんな活動』をして活躍しているのか、見て、聞いて、体験して知って欲しい」をコンセプトに、子どもを対象にした体験イベントを実施した。 		

基本目標	1 地域で支え合う仕組みをつくる					担当課	介護福祉課
主要施策	3 支え合い・見守り体制の充実						
町の取り組み	関係者のネットワークづくり						
具体的な内容	・生活支援コーディネーターを中心に、関係者間の情報共有を図りやすくするため、地縁、NPO、活動団体等のネットワークづくりを図ります。						
取り組み内容	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	●協議体を支援する。	●社会資源となる人材発掘を支援する。					
実績	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	●第1層・第2層協議体が発足し、勉強会や会議が開催されるにあたり支援した。また、普及啓発のため、地域への説明を行った。	●2019年11月に発足した協議体である「広陵ささえ愛」の第1層（第2層協議体各校区代表の集まり）及び第2層（小学校区毎の集まり）の定例会が、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止となった。しかし、大字・自治会単位で活動を進めていただくよう勉強会や住民ディスカッションを開催することができた。	●地域の社会資源を整理し、検索できる「広陵町医療・介護・地域つながりネット」を導入した。これにより、地域の医療機関、介護施設・介護サービス、地域のサロンやボランティア情報等を検索することが出来る。今後、地域のニーズと合わせて活用できるよう周知を進めていく。	●「広陵町 医療・介護・地域つながりネット」を活用し、地域の社会資源をマッピング。好事例を住民ディスカッションやささえ愛通信を通じて紹介することができた。	●未定		

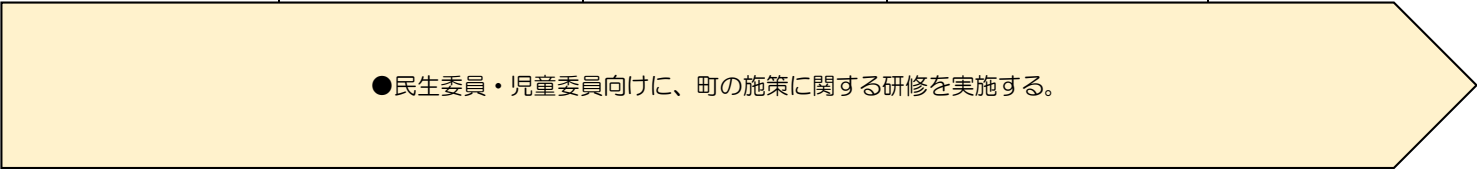
進捗	A
----	---

15

基本目標	1 地域で支え合う仕組みをつくる					担当課	社会福祉課
主要施策	4 福祉活動への支援と連携強化						
町の取り組み	民生委員・児童委員への支援						
具体的な内容	・誰もが安心して生活できる地域づくりのために民生委員・児童委員の活動を支援するとともに、活動内容を広く周知します。						
取り組み内容	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	<ul style="list-style-type: none"> ●民生委員・児童委員の顔写真付きの名刺の作成について、協議会役員と協議する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●新型コロナウイルス感染症の影響で、ほとんどの事業が実施されない可能性があるため、今後啓発できそうな事業の開催を民生委員・児童委員協議会と協議する。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; display: inline-block;"> <ul style="list-style-type: none"> ●健康づくりの場や子育て支援拠点等に対し、民生委員活動の周知を行う。 </div>				
実績	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	<ul style="list-style-type: none"> ●広報1月号において、令和元年12月に改選された委員の紹介記事を掲載した。啓発物品の作成や、補助については今後必要に応じて実施。また、民生委員・児童委員協議会広報紙「輪」第11号で新委員顔写真を掲載した。 	<ul style="list-style-type: none"> ●民生児童委員の活動を周知するため、町内5校の小学校に対し、クリアファイル・チラシの配布を実施するとともに、毎月の新生児4か月検診時には、絵本を配布し、民生委員の活動啓発を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ●前年度に引き続き、民生児童委員の活動を周知するため、町内5校の小学校に対し、クリアファイル・チラシの配布を実施するとともに、毎月の新生児4か月検診時には、絵本を配布し、民生委員の活動啓発を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ●前年度に引き続き、民生児童委員の活動を周知するため、町内5校の小学校に対し、クリアファイル・チラシの配布を実施するとともに、毎月の新生児4か月検診時には、絵本を配布し、民生委員の活動啓発を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ●未定 		

16

進捗 A

基本目標	1 地域で支え合う仕組みをつくる					担当課	社会福祉課
主要施策	4 福祉活動への支援と連携強化						
町の取り組み	民生委員・児童委員への支援						
具体的な内容	・地域の絆づくりを進めている民生委員・児童委員が、住民の多様な相談に的確にアドバイスができるよう、研修会や情報提供等を行います。						
取り組み内容	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
							
	●テーマ「手話言語条例」について	●テーマ「子ども子育て施策」について	●テーマ「高齢者福祉施策・介護保険事業」について	●テーマ「第5次前期総合計画」について	●テーマ「障がい福祉施策」について		
実績	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	●定例会において、手話言語条例をテーマに研修を実施した。	●当初予定していた、「子ども子育て施策」については研修を行うことができなかったが、定例会では、町が推進している「自治基本条例」をテーマとした研修を優先的に行った。	●令和3年8月6日に、地域包括支援センターに協力してもらい、認知症サポーター研修を委員向けに実施し、高齢者施策の中でも重要な認知症への理解を深める機会を作った。	●改選年に当たり、引き継ぎ及び新任委員研修を行い、町政全般の認識を深めてもらった。	●未定		

進捗	B
----	---

17

基本目標	1 地域で支え合う仕組みをつくる					担当課	社会福祉課	
主要施策	4 福祉活動への支援と連携強化							
町の取り組み	地域福祉活動への支援							
具体的な内容	・社会福祉協議会と連携し、地域福祉委員など、地域で福祉活動をしている人や団体を支援します。							
取り組み内容	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度			
	●社会福祉協議会や関係団体事務局と意見交換会実施に向けた協議を行う。	●民生委員・児童委員、地域福祉委員、その他団体との意見交換会を開催する。						
		●意見交換会の意見をもとに合同研修会のテーマを決めて、講師の選定を行う。	●地域課題の解決に向けた合同研修会を開催する。					
実績	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度			
	●社会福祉協議会においても地域福祉委員の役割を整理できていないため、町としても、必要な支援の洗い出しができなかった。	●新型コロナウイルス感染拡大防止のため、意見交換会や合同研修会は中止となった。	●令和3年8月初旬に、真美ヶ丘第2小学校区で、民生委員協議会と区長・自治会長会の交流会を実施し、今後の積極的な意見交換の為、顔の見える関係作りを図った。	●4月 避難行動要支援者名簿提供説明会を区長・自治会長及び地域防災組織組織のみなさんと共に行い、連携の確認を促した。 ●各小学校教諭と懇談会の機会を持ち、見守り活動等の意見交換を実施。	●未定			

18

進捗 A

基本目標	1 地域で支え合う仕組みをつくる					担当課	社会福祉課
主要施策	5 社会福祉協議会への支援と連携強化						
町の取り組み	社会福祉協議会の体制強化						
具体的な内容	・人材の確保と育成に対する支援をはじめ、適正な補助、事業における協体制強化など、社会福祉協議会の主体性や独立性に配慮しながらも、改善計画の推進に向け、必要な指導、調整及び支援に積極的に取り組みます。						
取り組み内容	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	●町職員を派遣し、社会福祉協議会の組織体制の強化を支援する。	●平成31年3月から、「広陵町社会福祉協議会改善計画」が「地域福祉活動計画」に移行となった。この計画は地域福祉活動の発展や推進における取り組みを具体的に示しており、推進していく。			●社会福祉協議会とともに、地域福祉活動計画の成果を検証・評価を行い、施策の立案や事業の見直しを行う。		
実績	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	●町職員を2名派遣し、組織の強化を行った。また、改善計画に関する協議の場を持ち、進捗状況の確認を行っている。	●ふれあい・いきいきサロン活動の支援として、24サロンの支援（運営に関する相談や支援、活動費用の助成等）を実施した。また、生活支援サービス提供体制の充実に向けて、「広陵ささえ愛（協議体）通信」の発行を年2回、勉強会を年2回開催した。	●社会福祉協議会では正規職員を3名増員し、体制の強化を図った。サロン運営の支援としてラジオ体操CDの貸出や、コロナ禍での活動についての冊子を無料配布するなどのバックアップを行った。年2回の「広陵ささえ愛通信」の発行、年2回の生活支援サービスの勉強会を継続して行った。	●サロン運営支援は順調に実施している。困窮者に対するフードレスキューは好評で生活保護支給までのつなぎ制度として対応している。 ●民児協定例事務を委託し活動にて得られる情報を共有することとなった。	●未定		

19

基本目標	1 地域で支え合う仕組みをつくる					担当課	社会福祉課
主要施策	5 社会福祉協議会への支援と連携強化						
町の取り組み	社会福祉協議会との連携強化						
具体的な内容	・社会福祉協議会を地域福祉の推進における中核的役割を担う組織として位置付け、積極的な活動展開を期待し、支援を行うとともに、連携の強化を図ります。						
取り組み内容	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
取り組み内容	●補助の見直しを社会福祉協議会と検討する。	●新型コロナウイルスの影響により、啓発事業が実施できないと見込まれるため、来年度事業の実施に向けた協議等を検討する。					
実績	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	●社会福祉協議会に対する補助対象業務等の見直しを行い、令和2年度から実施する予定。 ●補助見直しにあたり、社協本来の業務整理を行うなど、社会福祉協議会と検討を行った。	●奈良県が市町村に向けて、包括的な支援体制の整備に関する個別支援事業である「地域力向上支援事業」のスタートアップ会議を9月9日に開催し、関係団体（奈良県、奈良県社協、広陵町、広陵町社協）の共通認識を深めた。	●町のイベントで社会福祉協議会のPRブースを設けて周知を図ることを予定していたが、コロナ禍で、イベントが全て中止となり、予定通り行えなかった。	●かぐや姫まつりで共に地域福祉をアピールすることができた。 ●なんでも相談窓口を掲げ取りこぼしのない相談窓口として機能している。	●未定 ●未定		